

今後の台風期に備えた山国川防災対応説明会

H29年7月九州北部豪雨から2ヶ月が経過するのを機に、「山国川圏域水防災意識社会推進協議会」を構成する各組織が、今回の豪雨に対する認識を共有するとともに、今年度発生した急激な水位の上昇現象、耶馬溪ダム の操作・事前放流等について情報共有し、今後の台風対応について、改めて認識を共有した。

◇日時：平成29年9月4日（月）14:00～15:30

◇場所：山国川河川事務所 1階 会議室

◇出席者（組織名）：

大分地方気象台
大分県中津土木事務所
福岡県京築県土整備事務所
中津市防災危機管理課、本耶馬溪支所、耶馬溪支所
吉富町総務課
上毛町総務課
山国川河川事務所

◇議題

- 1) H29. 7. 5 九州北部豪雨における山国川の出水状況と治水効果
- 2) H29. 7. 31上流部短時間集中豪雨による急激な水位上昇
- 3) 耶馬溪ダムの操作、新たな取組（事前放流の開始）

◇内容

- ・山国川に沿った国道が被災及び浸水被害を受けているが、人家には直接影響していないものの、地域にとっては重要な生活道路であるため、浸水しないような対策が必要である。
- ・急激な水位上昇について、水位同様、雨量のデータにも注意が必要。
- ・行政組織内でも水位の急激な上昇がダム操作によるものと間違った認識をしている人がいるため、組織内において正しいダム操作の情報を共有していきたい。
- ・ダム操作の説明を地域の代表者が集まる会議において、説明して頂きたい。 等

